



わげんあいご

和顔愛語

本校は、青森県南端の「歴史と文化のまち」三戸町に位置する学校で、平成25年4月1日に、校舎施設設備一体型小中一貫校として開校し、令和4年度に10周年式典を終え、12年目を迎えます。

文責：島守 詩子

きみたちは、どう生きるのか

7月2日(火)は自由参観日でした。昨年度はなかったものですが、保護者の皆様に御都合のよい時間に来ていただいたり、参観したい授業を見ていただいたりすることができるのではないかとことから、今年度新たに実施してみました。いかがだったでしょうか？2学期に実施する予定の保護者アンケート等で御意見をお寄せいただければと思います。

自由参観日に合わせて、1学年保護者対象の給食試食会、9学年の修学旅行発表会、中等部、高等部対象のスマホ・ゲーム依存予防講演会等、たくさんの方が行われました。その中から、スマホ・ゲーム依存予防講演会について少し触れたいと思います。

スマホ・ゲーム依存予防講演会は、公認心理師で「心の相談室こじか」の小鹿和男先生を講師として実施しました。小鹿先生は、以前小学校教諭として活躍されており、その時の経験から子どもたちのゲーム依存脱却に向けて様々な活動をしてきている方です。昨年度も7~9年生対象に講演をしていただきました。8、9年生には昨年度と今年度の実態を受けてのお話をしてくださりました。小鹿先生の講演の中で、是非保護者の皆様にも知っておいていただきたいことがたくさんありましたが、いくつか御紹介します。

○スマホやゲームのしすぎ(1時間以上)から、小・中学生の成長期に様々な健康被害が起きている。

・両眼視異常(立体感、遠近感の異常)、急性内斜視・外斜視、軸性近視の増加

○学力の低下

・前頭前野の空洞化

学力の低下については以前から問題とされてきましたが、脳科学的な裏付けがあるとお話でした。前頭前野は、記憶や集中といった「思考」、相手に気持ちを伝える「コミュニケーション」、思いやりなどの「心」、「判断」などの働きがあります。活字を読んでいるときは、前頭前野にたくさんの血流があります。音読をするとさらに活性化されるそうです。しかし、動画を見ているときは前頭前野はほとんど活性化されていないという事実があるそうです。そうすると、子どものうちからスマホの使用時間が長いと、脳の発達が止まり小さくなっていきます。そのことから、学力の低下だけでなく、我慢ができなかったり、友達との人間関係を自分たちでうまくつくれなかったりする子どもが増えているそうです。そういった状況を改善するためには、睡眠時間をきちんととること(学童期は9~11時間)、外での活動時間をもつこと、活字に触れること、夢中になれるものを見つけることなどをあげていました。本校では、朝の時間帯に朝読書を行っています。とても短い時間ですが、その時間をきっかけに、読書に親しむ児童生徒が増えることを望んでいます。朝の読書の時間に間に合わず、落ち着いた朝のスタートが切れないお子さんもいることが残念です。

今の時代はデジタル端末を便利に使う時代になりました。しかし、子どもの発達段階を理解した上で、適切に使用して欲しいと思います。保護者の方の御協力なしでは改善はできません。講演の後半で、夏休み中に取り組んで欲しいこととお話ししてくださりました。子どもたちのよりよい成長のために、デジタル端末の使い方についても親子で話し合ってみてください。



※この学校だよりは、三戸小中HPでカラー版をご覧になれます。また、ダウンロードもできます。なお、学校だよりのHPへの掲載は、児童生徒の学校だより等への写真掲載の承諾の確認ができてからといたしますので、御了承ください。

斗川小学校との交流会

6月26日(水)は、三戸町一斉の耳鼻科健診が行われ、その機会に斗川小学校との交流会を行いました。4時間目にはそれぞれの学年に斗川小学校の児童が交じり、

一緒に授業を行った後、給食を食べ、清掃、昼休みも一緒に過ごしました。自分が何をすればいいのか戸惑っている場面もありましたが、同じ三戸学園の仲間ですので、いろいろな機会を通じて交流を深めていければいいと思います。今年、社会科見学なども一緒に実施する計画になっています。



授業風景



5年生 宿泊学習 6月24日(月) ~ 25日(火)

今年の宿泊学習のテーマは「協力」と「考動」。学校から離れ共同生活を送る中で、自分たちで考えて行動したり仲間と力を合わせて活動したりできる2日間になるように過ごしました。

出発の日の朝は雨模様。子どもたちも「いかだはできるんですか？」と心配していましたが、午後には雨も上がり、海に出かけて、無事いかだ遊びをすることができました。なかなか前に進まないいかだに悪戦苦闘しつつ、みんなで息を合わせてこぐとうまく進むことに気付き、何回かやっているうちに上手にこげるグループが増えました。また、いかだを運んだり乗る順番を決めたりと、テーマである「協力」「考動」している姿もたくさん見られました。

ナイトハイクとボンファイヤーでは、グループで協力して火をつけたり友達に声をかけながら夜の道を歩いたりし、夜の自然を満喫しました。磯遊びとカニ釣りでは、海の生き物をたくさん見つけたり、スルメでカニを釣ったりして、海と海の生き物に親しみました。また、カニの釣り方を教えてあげたり捕れた生き物を見せてあげたりと、仲を深めている様子がたくさん見られました。

様々なプログラムの活動を通して、子どもたちの秘めた力を発見することができました。子どもたち自身も、自分の良さや友達の良さを発見するとともに、自分の課題にも気付くことができたようです。大きなことをやり遂げた自信を次のステップにつなげられるよう、今後の学校生活を送らせていきたいと思ひます。



1・4年生縦割り遠足

1・4年生の遠足では、城山まで歩きました。4月から初等部リーダーとして頑張りを見せてくれている4年生。1年生の手を引き、仲良く話しながら歩く姿がたくさん見られ、微笑ましく感じました。学校に戻ってくると、「新しい友達ができたとよ！」とうれしそうに教えてくれる子どもたちがたくさんいました。1年生も入学して3ヶ月、新しい仲間がたくさんできました。



ジュノハートお渡し会



6月25日(火)、今年も1年生へのジュノハートのプレゼントがありました。当日は、慶長教育長さんとサクランボ研究会の藤原さんが見えになり、子どもたち一人一人に手渡しをしてくださいました。今年はサクランボのできがあまりよくないよう



で心配されましたが、立派なジュノハートをいただくことができました。最後に代表して、斉藤渚さんと越後初音さんが御礼の言葉を述べ、1年生全員で元気よく「ありがとうございます。」と感謝の気持ちを伝えることができました。

真奈先生ありがとう!

教育実習をしていた小原真奈先生が、6月28日(金)で実習を終え、大学に戻りました。研究授業では、真奈先生のために一生懸命頑張る2年2組の皆さんの微笑ましい姿がありました。本校での実習で経験したことをこれからの人生に生かしてくれるとうれしいと思ひます。

～真奈先生からのメッセージ～

昨年の9月は中学校で理科、今回は小学校で教育実習を行わせていただきました。小中学校で合計7週間、皆さんと一緒に学び、成長することができ、大変貴重な経験を積むことができました。みなさんの明るいあいさつ、活気ある姿にたくさん元気をもらいました。本当にありがとうございました。

今回学んだ事を生かし、子どもたちに夢や希望を与えられる教師を目指していきたく思ひます。いつの日かまたみなさんと会える日を楽しみにしています。



※この学校だよりは、三戸小中HPでカラー版をご覧になれます。また、ダウンロードもできます。